

その

転校生、

雪女

しかも発情期◎





ほらほら予鈴だ  
お前ら席つけー



静かにしろー

今日は転校生  
紹介するぞー



僕の名前は黒尾衛

オカルトマニアの  
JMAオタクだ

普段なら  
転校生など  
スルーだろう

では白崎、  
入れー



でも彼女の異質さに  
一瞬で  
目を奪われた

転校生の白崎有希だ

お前ら  
仲良くするようにー  
ざわ



ざわ

ざわ...

悪い意味の  
異質さではなくて  
むしろ...



またニヤニヤしてる  
きもくなくらい

顔はかわいいん  
だけどねー

え？

当然クラスで  
浮いてるし

友達もいない



え？芸能人？

髪の毛サラサラ〜

ざわ

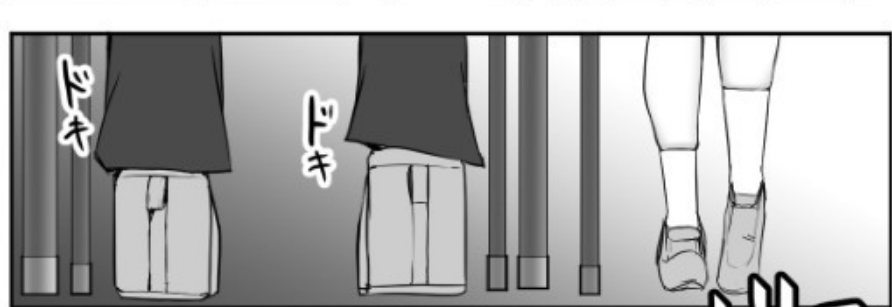
肌しっとりお…

ざわ

顔きれいすぎて  
直視無理なんですけど…

ざわ

胸でっか



ガラ



それじゃあ席は…  
一番後ろの  
黒尾の隣が空いてるな

僕のとおり！？

目が合ってしまった…



よろしくお願ひしますね

よ、よろしく

僕の青春が  
始まった気がする



すごい見てくる…

なんてきれいな顔立ちだろう  
現実離れた透明感というか…

あれから1週間

白崎さんはクラス内で  
人気出るだろうな  
と思ってたけど

みんなあまりの高嶺の花で  
声を掛けられないらしい

僕の隣でいつも一人で  
本を読んでいる気がする

それか意図的に  
壁を作ってる？

話したのだった

ま…黒尾くんって  
オカルトが好きなんですか

え…？

俺絶対こういう存在って  
実在してると思っててさ！

いつも読んでるこれ  
オカルト雑誌ですよ

うん…

もしかして白崎さんも  
興味あるの？

えーと…少しだけ

お話して友達に  
なるのが夢なんだ！

そ、そうなんです

もしかしてやばいやつって  
思われたかな…

トキ

体育祭が近づいて  
出場種目の  
二人三脚の練習！

なんだけど、  
運動音痴でとりあえず  
割り当てられただけで…

しかもペアが  
まだ決まってない

黒尾くん

二人三脚ご一緒する  
ことになりました

がんばりましょう

お、おお…

まじか…  
白崎さんとペア  
だなんて

ドッキリ  
じゃないよな

まあ転校生が入る枠なんて  
ここくらいしか余ってないか

改めて  
カモシカみたいな足だ  
身長差すごいし…

足結びますね

ありがとう

この体格差で二人三脚とか  
無理でしょ…

太ももが倍近くある…

ぽんぽん

太もも柔らかくて  
少しひんやりしてる  
気持ちい…

むい♡

冷え性なのかな？



1:2

1:2

1:2

1:2



1:2

1:2

ゆれ



ええ...

男女でペア組むだなんて  
ちょっと変だよな...

はずかしい...

とりあえず  
走ってみましょう

そっ

あたってる...



あっ!



いちっ

1:2

やばいっ  
リズムが崩れたっ



僕が余所見  
してたんだ...

ごめんなさいっ

ちょっと足首  
ぐねったみたいで

たいしたことない...  
って言いたいけど

だ、大丈夫ですかっ

いてて...



なにを...?

じっとして  
くださいね

ちょっとだけ

足首をみせてください

は、はい



え



このことは...

私たち二人だけの  
ヒミツでお願いします

まさか白崎さんって...!

あれ、もう痛くない...!

わ、わかった  
ありがとう...



来てくれないと  
口が滑っちゃうかも



え……

白崎さんのこと  
もっと知りたいんだ  
今からうちに  
きてくれれない!



黒尾くん?

白崎さん  
待ってよ



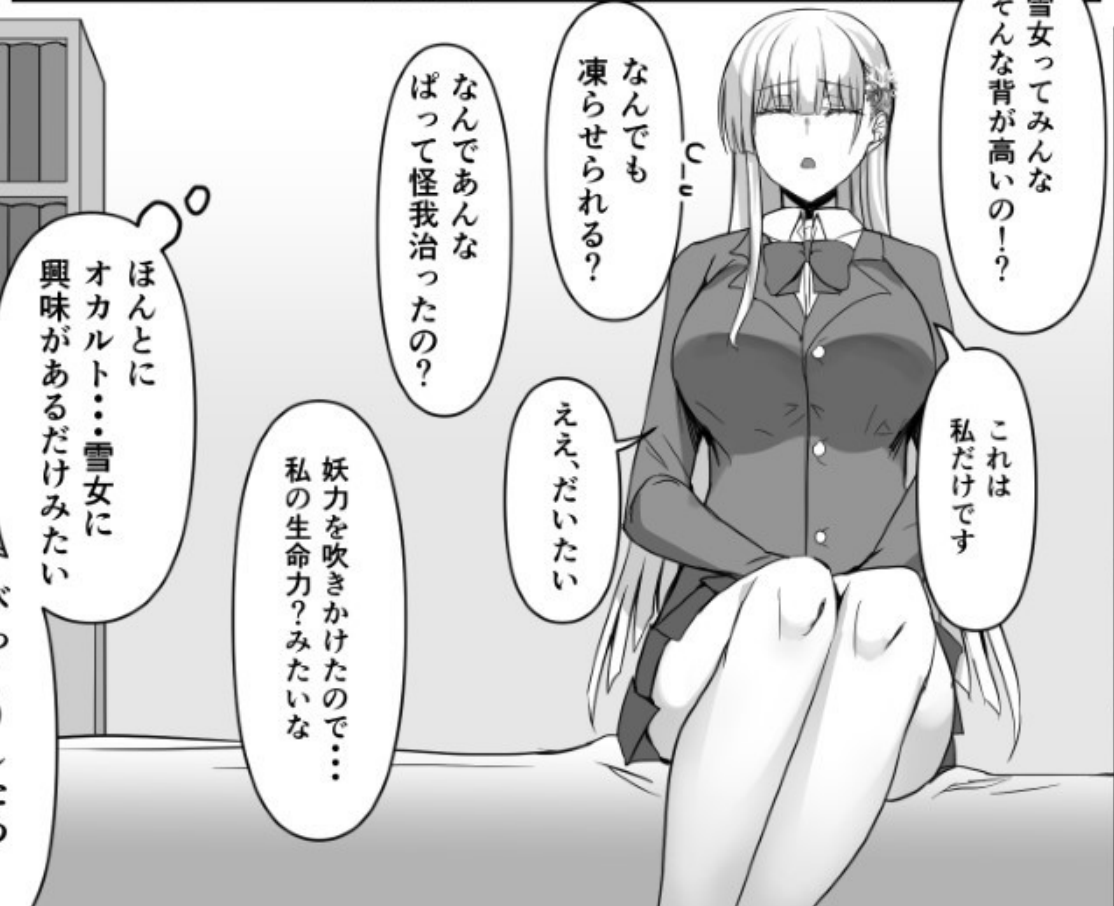
覚悟は……できています

それで白崎さん  
僕の家に来たからには  
わかってるよね……?



……

わかりました



雪女ってみんな  
そんな背が高いの!?

これは  
私だけです

なんでも  
凍らせられる?

ええ、だいたい

なんであんな  
ばって怪我治ったの?

妖力を吹きかけたので……  
私の生命力?みたいな

ほんとに  
オカルト……雪女に  
興味があるだけみたい

びっくりしたあ……



白崎さんって  
ほんとに雪女なの!?

え? あ、はい  
そうです



この果物を凍らせてみせてよ!

お安い御用です

ふうー……

す……

バナナがカチコチだ

僕の



!

白崎さんっ!  
なんだか無性にムラムラして……!

でもこんなつもりで呼んだわけじゃなくて……!



まさか私の妖気にあてられて……

もう我慢できそうにないんだっ





白崎さん……ッ!

キャッ!!



白崎さんのまんこ……!

黒尾くんっ  
そんなとこ舐めたら……  
だめえ……っ

もっと直接嗅ぎたい!

えっちな匂い……!

すっご……!

すっご……!

ぐっ

ぐっ



まんこっ  
どんだん  
溢れてくるっ

うまっ……

キャッ!!

うまっ

キャッ!!

じゅる

キャッ!!



じゅる

じゅる



もうセックスしよう  
セックス！

ここまできたらいいよねっ

白崎さんっ

セックスっ

それだけは

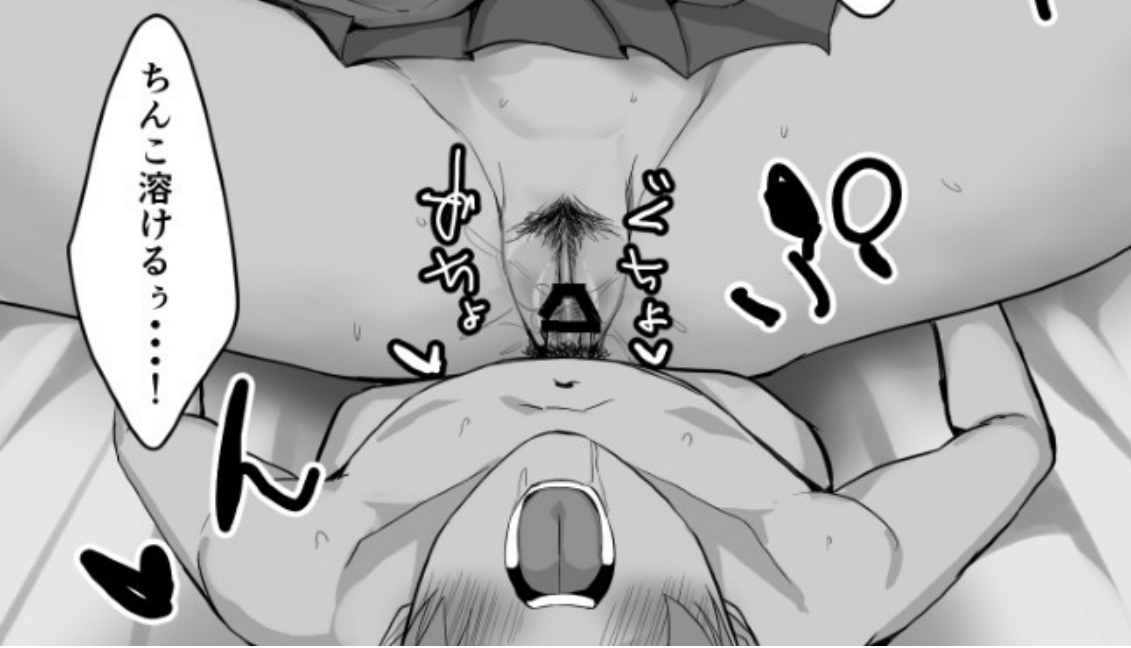


挿入った……！

肌はひんやりしてるのに  
膣内はほかほかで……



だめえっ



ちんこ溶けるう……！

膣内せつま……い

ううう……っ！



気持ちよすぎるよっ!

にゆるにゆるの つなつなでっ

白崎さんの まんこっ

パチュッ

あーっ  
あーっ  
あーっ



服が邪魔だっ!

あ...  
あ...

びん  
びん

白崎さんの...  
生おっぱいっ



ああっ白崎さん いい匂いするっ!

思いきり抱き締めながら

パンパン  
気持ちよすぎる...!

ギュー  
スー  
スー



なんて乳だ!

えっちすぎ!

白崎さんも嫌がってるふりして気持ちいいんでしょ!!

ズン

ズン  
ズン  
ズン

フリッ  
フリッ  
フリッ

こんな膣ヒダとろけさせておいて

感じてないって無理があるよ!!



んま  
んま

ズン  
ズン

んま

んま  
んま



んおおおおおお！

このまま射精すよ！  
白崎さんの膣内に！

あーっ

あーっ

だめっ

これだ！

おめーっ

おめーっ  
おめーっ



射精す

射精す

射精す

射精す

あーっ！！

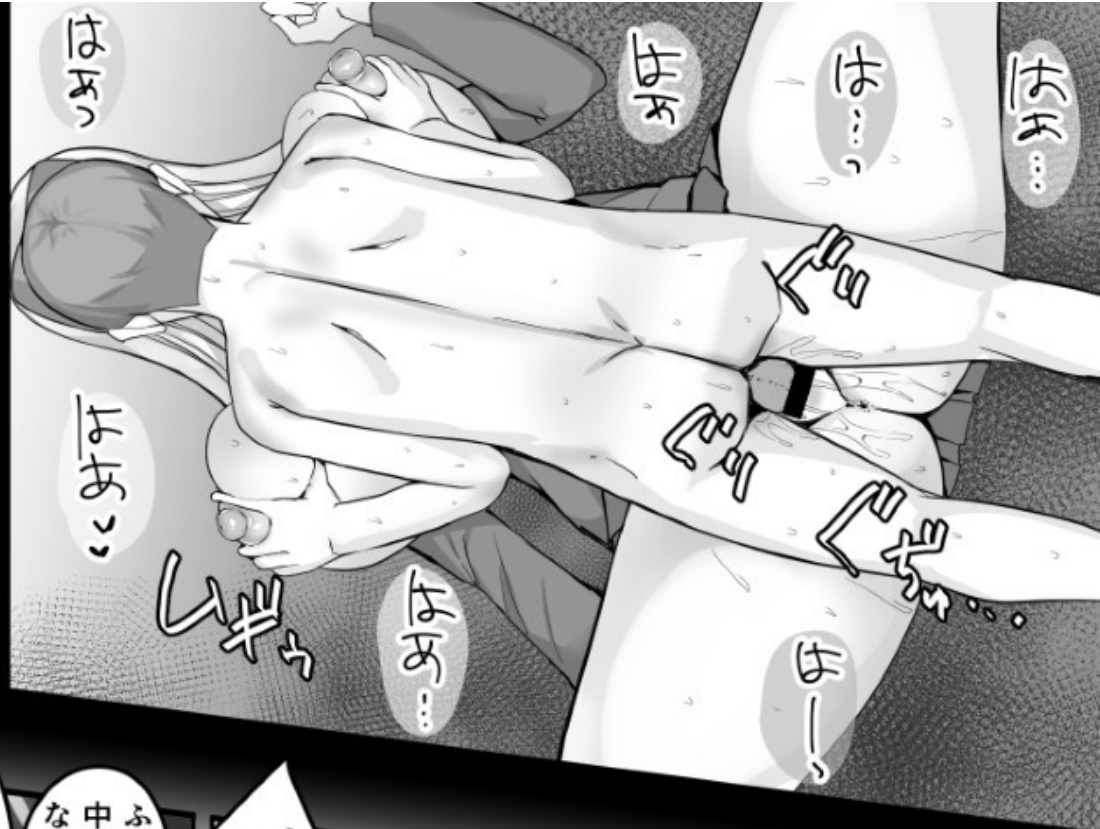
あーっ

射精す

あーっ

あーっ







はあ

はあ

はあ  
もぞ

はあ

もぞ



Yuki

はあ

はあ



はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ



はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ……

気が重い……

白崎さん……  
お、おはよう

白崎さんはすごいな……  
昨日あんなことがあったのに  
登ました顔をしている

こんな綺麗な女の子を  
うちに連れ込んで  
あげくには……

昨日のことは  
夢じゃないんだよな

白崎さんにどんな顔したら  
いいんだ……

黒尾くん、  
おはようございます

……ん？

目線があったまま  
逸らさない……？

いつも通りに  
過ごすんじゃない……

あんなに  
顔を赤くして

黒尾くん、  
あの……

こんなあからさまな様子じゃ  
怪しまれてしまう……

お話があるので  
一緒に隣の教室に  
来てください

はあっ♡

はー♡

ぼっ♡

もじもじ



もしかして  
昨日の



それで...

白崎さん  
話って...??



昨日の責任

取ってください  
今ここで

何回慰めても  
治まらないんです

白崎さんの  
様子が...

え...?ちよっ...!



黒尾くんのせいです

えっ??



手短にすませれば  
問題ないでしょう

私の方は  
準備できてますから  
早く♡



そんな、だめだよっ  
ここ学園だよっ  
ヤバいって!

もしも  
パレたら...!

わあ...



性欲に抑えが効かなくて……!!

黒尾くんが視界に入っただけで



白崎さん……っ どうしちやったのさっ

昨日の刺激で雪女の発情期が始まってしまったみたいでしてっ



ゴムなんてもってないよ……!!

そのままですからっ



そんなことは……っ

こんなにぐちよぐちよに濡らして……説得力ないよ

ゲボッ 僕恋人になつてよ



もう頼れる人が黒尾くんしかいないんです……っ

それじゃあ僕は……っ

ただ白崎さんの都合のいい肉棒じゃないか……!!





ああっ  
なんて甘いんだ



超うれしいよ!

白崎さん  
みたいな恋人が  
欲しかったんだ!

せっかく恋人に  
なったんだから  
ちゅーしようよ!

恋人ちゅー!

は、はいっ!



キスだけで……!



なにより  
顔がいいしっ



唾液が  
粘っこくて

すごい  
いい匂いするし



もう射精そう!

なかじゅ

ドキョ  
ドキョ  
ドキョ

なかじゅ  
なかじゅ



それから  
白崎さ...有希ちゃんに  
誘われるままに

はあっ...♡  
衛くんっ

有希ちゃん  
声抑えて...

学園のいたるところで  
まぐわうようになった

衛くんも大胆なこと  
しますね?

はー！

カチャ  
カチャ

もう濡れてますから

挿入れちゃって  
ください♡

ぽっ  
く

男子トイレに  
連れ込んで、だなんて...

バレたら  
どうしましょう♡

ドキ  
ドキ  
ドキ  
ドキ

ぬ

うう...  
興奮する

ちゅ  
ぬっ  
ちゅ  
ぬっ

はああっ！

衛くんのがっ

奥までっ♡

ううっ！  
だって有希ちゃんの中  
気持ちよすぎるう！

オモすっこい

オモすっち

たや

たや

はっ

はっ

はっ

あまごい  
おっしん

おっ

おっ

おっ

おっ

はあ

はっ

ふふっ、  
必死みたいで  
かわいいです

へっ

へっ

おっ  
おっ  
おっ







今の女のうめき声…  
だったよな？

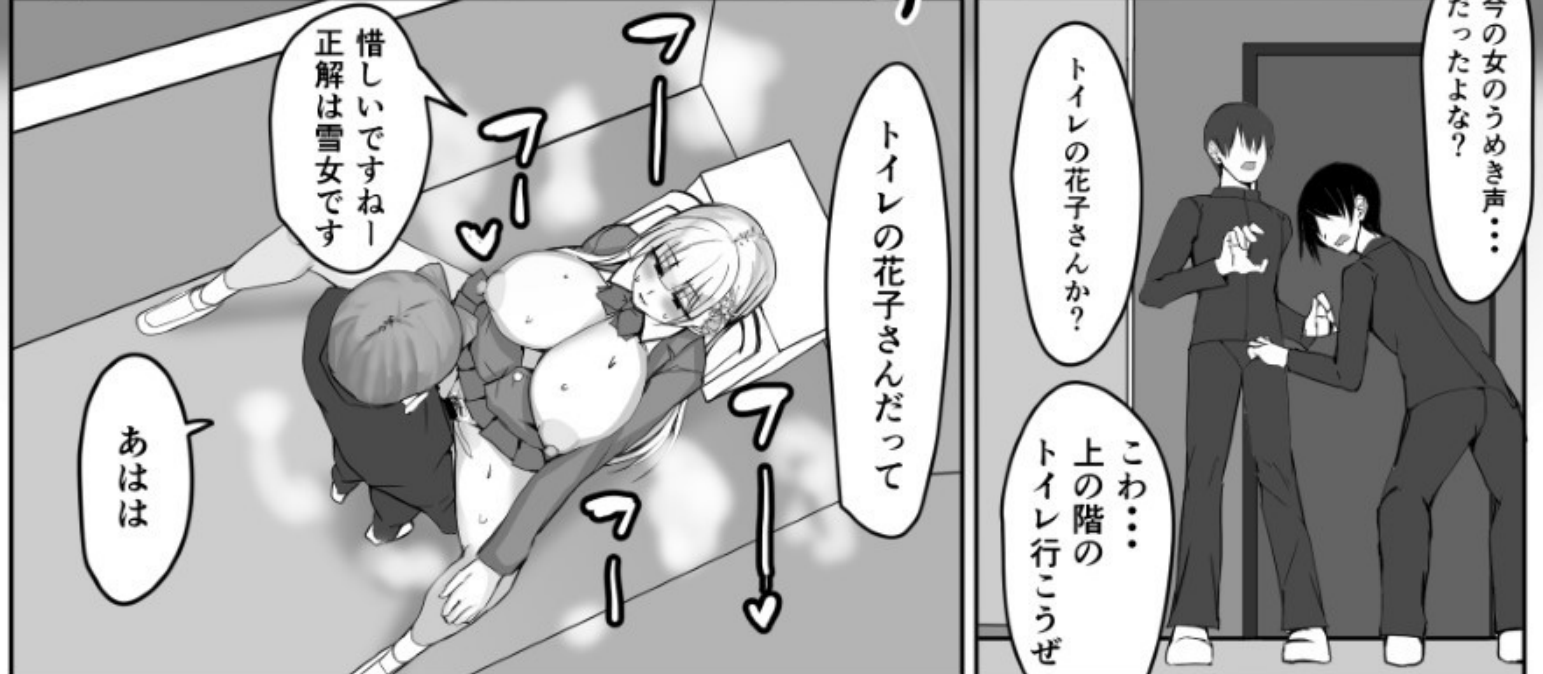
トイレの花子さんか？

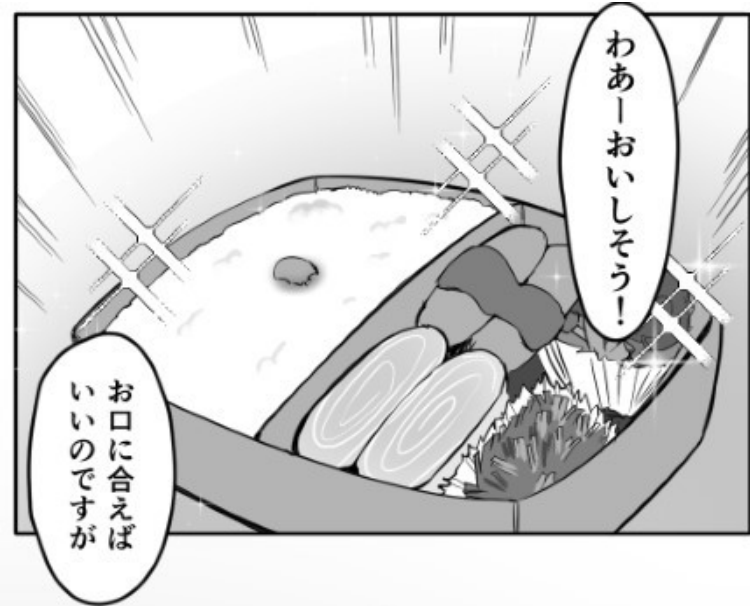
こわ…  
上の階の  
トイレ行こうぜ

トイレの花子さんだつて

惜しいですねー  
正解は雪女です

あはは





なんでお前なんか  
白崎さんと  
仲良さそうなんだよ



まさか付き合ったり  
してねえだろうな

ハハハ……まさか

白崎さんとは  
ただの友達で……

お前みたいなカスが  
白崎さんと関わるな



聞き捨てなりませんね

し、白崎さん……!!

私が誰と仲良くしても  
あなたには関係ないはずす



衛くん  
に  
謝  
っ  
て  
く  
だ  
さ  
い

な、なんか悪寒が

背筋の震えが  
とまらない



衛くん  
大丈夫でしたか?

うん、ありがとう  
白さ……有希ちゃん

怒らせると  
怖いんだ……



それにしても…  
私は友達ですか

聞かれてたー！

それは！ 僕じゃ有希ちゃんと  
釣り合わないから

おこりますよ？

ご、ごめんて

じゃあお詫びに  
お願い聞いてくれますか

え？なんでもするよ

それなら…  
キスしてほしいです

不安に  
させちゃったかな

最初出会ったところからは  
考えられなかった…

愛情を確かめ合う  
ような優しいキス

キスの時間長い

でも顔がいいから  
一生してられる…

まさかこんな  
関係になるなんて

ね…

シたくなつて  
きちゃいませんか…えっち

ここなら誰も来ない  
でしょうし…

シてっちゃんいましょうよ









しかもそのあと  
助けてもらって…

こんなんじや  
いつか見放されちゃう



さっきの僕  
情けなかったよね…

あんな嘘ついて  
有希ちゃんを  
悲しませて



他の男性のところへは  
行きませんよ

と言うか  
行けないんです

雪女は生涯一人の男性にしか  
操を立てられない生き物なんです



有希ちゃんが  
他の男に取られてしまっ  
って考えたら

すごくいやな気持ちになっ  
て

不安になったんだ



そ、そうなんだ

はい、だから  
安心して下さい



普通のアパートですよ

有希ちゃんのお家に！  
わくわく！

有希ちゃんのお家に！？



そうだ！

明日の休日うちに遊びに来ませんか？



私服の色気がすごい

こ、こんにちは



いらっしやい

あ、衛くん！

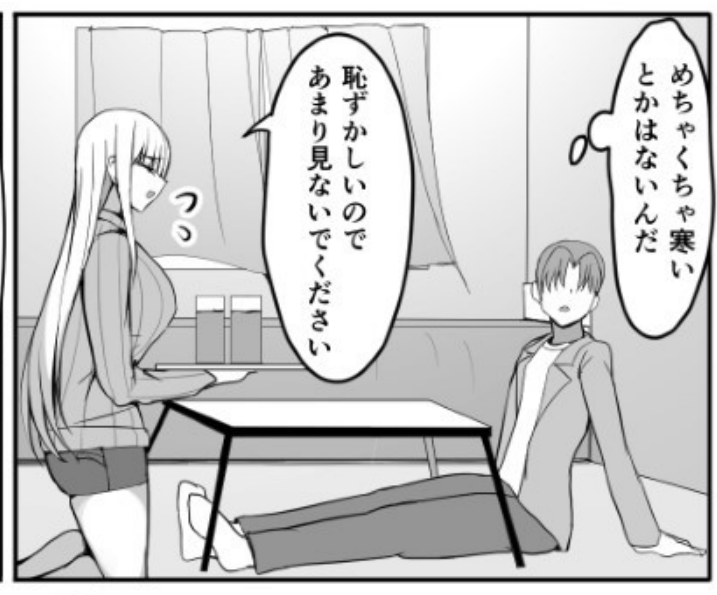


女の子の部屋初めてだ...



どうぞ上がってください

お邪魔します





いつもは僕が  
がつつく側だったけど



握らせてくださいいね♡

今日は私に主導権

わあっ

すごい絶景...



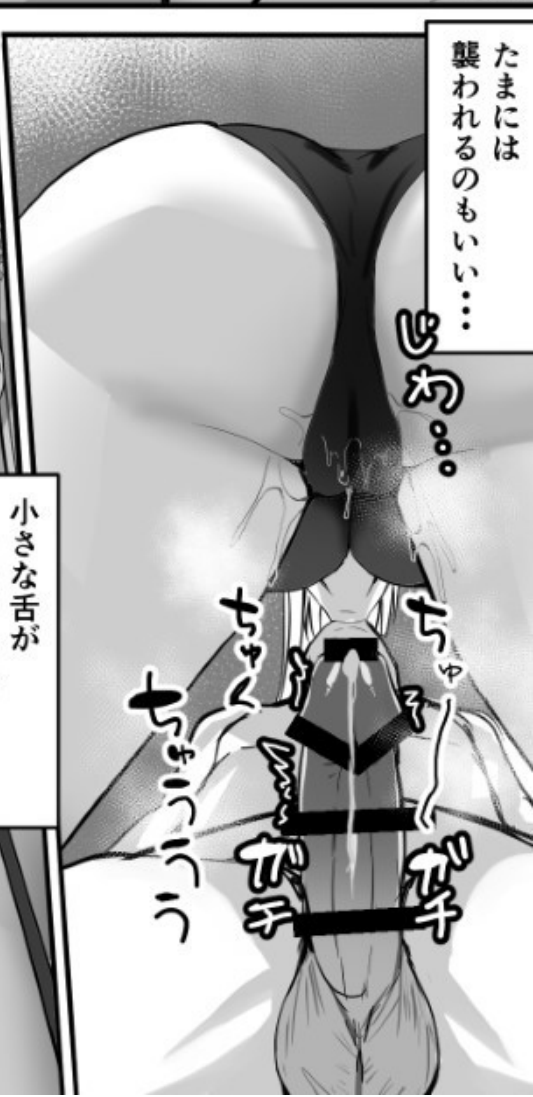
身動き一つとれない...

柔らかい肢体に  
押しつぶされて



有希ちゃんも  
こんな下品なベロキスするんだ

小さな舌が  
口の中で暴れてる...



たまには  
襲われるのもいい...

じわ...







トロトロのツバ  
おいしいっ

もっと飲ましてっ

ふふっ  
衛くんったら

ゴロ  
ゴロ

ちゅ  
ちゅ

変態さん  
ですね♡

ちゅ  
ちゅ

ちゅ  
ちゅ

はっ



ちゅ  
ちゅ

ちゅ  
ちゅ

ちゅ  
ちゅ



口もちんこも  
これ以上ないくらい  
ずっと幸せだ…

ズチュ

ズン

おにい

ちゅ  
ちゅ

続け…

この時間  
続け…!!



って、あれ…？

グッ  
グッ

気持ちいいはずなのに  
だんだん苦しく…

ごめんなさいっ  
息継ぎ忘れてましたっ

はっ

はっ

はっ

危うく溺れかけた

でも有希ちゃんの汁で  
溺れ死ぬの悪くないかも…



それは困りますが…  
でももっと激しくしますね♡

最後の射精でるっ



生ハメまんこに  
直接だすうううう！

すごい音立てて  
キスされてる



なんて唾液の量

精子が作られてる  
のがわかる

もう出ないはずなのに

雪女の唾液で無理やり  
勃たされてる…!!

有希ちゃんっ  
もう射精るっ





ああっ♡

衛くんのあついのが  
子宮にいっぱいっ♡

う……っ  
お腹の上から  
擦られるのヤバ……!

膣壁が搾り取る  
みたいになっ……!

射精とまらない……っ



え？

もう  
終わっちゃうんですか？



もうさすがに  
でない……

も……もうっ

そのあと

進む若さの赴くまま

ギューン...

性欲の限り

何回も何回も

セックスし続けた...

おっぱい!!

エロ...





匂い…好きなんですか？

ふふっ、  
少しはずかしいですね

ちょっと  
汗のにおいがして  
いい！

白崎

うん！



では…

!?

?

伏線回収ですか！

ほいん♡

あ…あ…あ…

こういう趣向は  
いかながなと思ひまして…

1-2  
白崎



えー…  
すごくよかったのに

はっ、  
恥ずかしくて死にそうです  
もうやりませんからねっ

早くベッドに  
座ってください！



もう…  
思い付きでやるんじゃ  
ありませんでした

してくれないと  
もうえっちしてあげない

んっ…  
いやですよ…

えーやってやってやって

…わかりました  
ちょっとだけですよ？

ズン…  
ドクドク



そのくらい衛くんのが

なんでもしてあげたい



でも  
これで衛くんが  
喜んでくれるなら...

くさくさないかな...



有希ちゃん...!!

も、もう...っ

我慢できないっ



たまらなく  
好きになってしまったてる

これ以上  
好きになってしまったら...!!

どちゅん

どちゅん

れちゅん

くさ

どちゅん

どちゅん

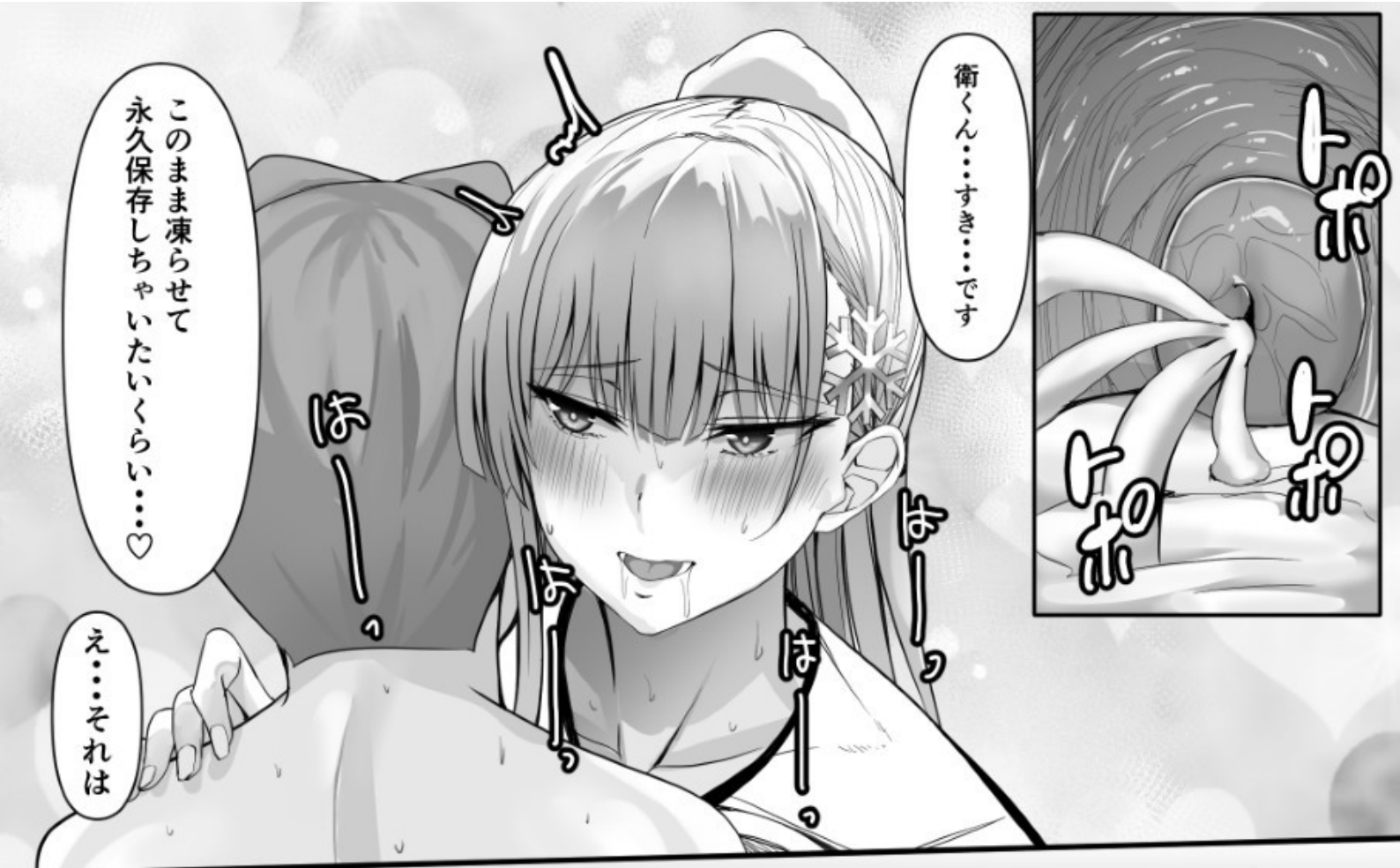
どちゅん



おかしく  
なっちゃう……♡



びしょびしょ





なんだか  
懐かしいような

幸せな夢を  
見ていた気がする



朝…



幸せそうな寝顔

同じ夢をみてたら  
いいなあ



ん…う

起こしちゃった？



あ…まもるくん

おはようございます

たまのほうさ  
その転校生、雪女しかも発情期。  
aisatsuohayou3@gmail.com